

ブドウ(無核・無加温栽培)の栽培・防除暦(平成31年(2019年)版)

月	旬	生育相	管理作業	対象病害虫	基幹防除			100% 当たり 薬量	補完防除及び注意事項	散布日 散布量 記入欄
					FRACコード(殺菌剤)	IRACコード(殺虫剤)				
1		休眠期	発芽促進(CX-10)処理 主枝延長枝への芽傷処理	◎越冬病害, 枝膨病	罹病枝, 巻づる, せん定枝, 落葉は, 園外に持ち出す 防風垣を整備し, 園内の通風を良くする					
2	上		ビニル被覆 灌水	◎晩腐病, 褐斑病 黒とう病, つる割病	ベファン液剤25	M7	250倍	400cc		
3	上 中 下	萌芽直前 萌芽期	灌水	◎べと病	キノドーフロアブル	M1	600倍	166cc	萌芽後は霜害対策を講じる	
4	上 中	発芽 展葉期	芽かき 灌水 新梢誘引	◎べと病, 褐斑病 晩腐病	ジマンダイセン水和剤	M3	1,000倍	100g	※病害は十分な散布量(300%/10a以上)で初 期発生を確実に抑える ○アカガネサルハムシ スミチオン水和剤40 1,000倍 [1B] ※ハウス内の湿度が上がらないよう換気を行 う(病害発生防止)	
	下	展葉10枚	摘心・花穂整形・摘房 副梢除去	◎べと病, 褐斑病 晩腐病	ジマンダイセン水和剤	M3	1,000倍	100g		
		開花始め		◎灰色かび病, 晩腐病	スイッチ顆粒水和剤	9, 12	2,000倍	50g		
5	上	盛期	第1回目ジベ処理 (2~3回に分けて)						※晩腐病発生園では落花期に 7ミスター107077 1,000倍を散布する [11]	
	中	終期 果粒肥大期	第1回目ジベレリン処理 (巨峰系4倍体品種の場合 ジベレリン12.5ppm+フルメット5ppm)						【実施中心日: 月 日】	
		灌水 摘粒, 摘房 第2回目ジベ処理 (1回目から約10日後)	◎灰色かび病 ◎アザミウマ類, ハマキムシ類	フルーツセイバー [7] 1,500倍 66g ティアナWDG [5] 5,000倍 20g				※灰色かび病は耐性菌発生の恐れがあるた め, 同一農薬を連用しない ○灰色かび病 バスター顆粒水和剤 1,500倍 [17] ○チャノキアザミウマ アクトラ顆粒水溶剤 2,000倍 [4A]		
下	果粒肥大期	第2回目ジベレリン処理 (巨峰系4倍体品種の場合 ジベレリン25ppm)						【実施中心日: 月 日】		
6	上	硬核期	袋掛け (できるだけ昼温を下げる)	◎晩腐病, 褐斑病 うどんこ病 ◎チャノキアザミウマ	袋掛け前 オンリーワンフロアブル [3] 2,000倍 50cc コルト顆粒水和剤 [9B] 3,000倍 33g				○環状剥皮(目的:着色促進) (満開から30~35日後) ○コウモリガ カットサイトS 原液~1.5倍(21日前まで) [1B] ※ 幼虫食入期直前~食入初期に主幹部に 塗布する	
	中	果粒軟化期	新梢誘引 灌水						【袋かけ後】 ○チャノキアザミウマ多発生時 ダントツ水溶剤 2,000倍(前日まで) [4A] モビルン顆粒水溶剤 2,000倍(14日まで) [4A]	
	下	着色開始	副梢除去(1~2葉残し) ビニル除去	◎褐斑病 ◎べと病	ビニール除去前 [3] 50cc オーシャインフロアブル(7日前まで) 2,000倍 50cc ランマンフロアブル(14日前まで) 2,000倍 50cc				○ハダニ類 スターマイトフロアブル 2,000倍(14日前まで) [25A] ○ハマキムシ類 サムコフロアブル10 5,000倍(前日まで) [28] ○べと病 エトフィンフロアブル 1,000倍(7日前まで) [22] レバースフロアブル 2,000倍(7日前まで) [40] ○褐斑病 オンリーワンフロアブル 2,000倍(前日まで) [3]	
7	上 中 下	果粒軟化期 成熟期	新梢誘引 適正着果量確認 新梢管理	◎べと病	ムッシュホルド-DF [21] 500倍 200g 又はICホルド-48Q [M1] 30倍 3.3kg				○ハダニ類 スターマイトフロアブル 2,000倍(14日前まで) [25A] ○ハマキムシ類 サムコフロアブル10 5,000倍(前日まで) [28] ○べと病 エトフィンフロアブル 1,000倍(7日前まで) [22] レバースフロアブル 2,000倍(7日前まで) [40] ○褐斑病 オンリーワンフロアブル 2,000倍(前日まで) [3]	
8	上 中		収穫始め 収穫終わり							
9				◎べと病 ◎ブドウトラカミキリ	ムッシュホルド-DF [M1] 500倍 200g 又はICホルド-48Q [M1] 30倍 3.3kg スミチオン水和剤40 [1B] 800倍 125g				スミチオン水和剤40の散布は収穫後に限る ※晩腐病発生園ではICホルド-48Qに替えて ICホルド-66D 50倍を散布する [M1]	
10			土づくり ↑ 土壌改良資材 堆肥投入 ↓ 中耕	◎べと病	ムッシュホルド-DF [M1] 500倍 200g 又はICホルド-48Q [M1] 30倍 3.3kg				ブドウトラカミキリ発生時は, ダントツ水溶剤 2,000倍を加用する [4A]	
11		落葉前		◎べと病	ムッシュホルド-DF [M1] 500倍 200g 又はICホルド-48Q [M1] 30倍 3.3kg				※早期落葉を避け, 初霜まで葉を保つ	
12		休眠期	排水対策 縮・間伐 整枝・せん定 巻づる除去						○白紋羽病 70ンサイトSC 500倍 50~100%樹 [29] ※ 灌水器で樹幹から半径1m程度の範囲で 数ヶ所に灌注処理を行う。かぶれに注意	

注1)平成31年2月13日現在の登録内容に基づき記載
注2)農薬使用時期・使用回数等については別紙参照

【施肥基準例】

くみあいぶどう配合1号(7-7-7)使用の場合 (10aあたり)

時期	肥料名	生産量		
		1.5t	1.8t	2.1t
初秋肥 (収穫直後)	尿 素 (硫 安)	100g/樹 (200g/樹)		
秋肥 (11月上旬)	くみあい ぶどう配合 1号(7-7-7)	5袋	7袋	8袋

注)堆肥は完熟牛ふん堆肥2t/10aを施用する

【植物成長調整剤について】

薬 剤 名	使用目的	使用時期	使用方法	希釈倍数	散布量	本剤の使用回数
CX-10	休眠打破による新 梢の萌芽促進及び 発芽率の向上	収穫後発 芽前	結果母枝に 散布又は塗 布	10~20倍	150~200 %/10a 以内	1回
STジベラ錠 (巨峰系4倍体 品種) [無核栽培]	<2回処理> 無種子化と果粒肥 大促進	満開時~ 満開3日後 満開10日 ~15日後	花房浸漬 果房浸漬	ジベレリン 12.5~25ppm ジベレリン 25ppm	-	2回
フルメット液剤 (巨峰系4倍体 品種) [無核栽培]	着粒安定	満開時~ 満開3日後	花房浸漬	ホルカルフェニロン 2~5ppm	-	1回
ストマイ液剤20 アグレプト液剤	無種子化	満開予定 日14日前~ 開花始期	散布又は 花房浸漬	1,000倍 (200ppm)	-	1回

※ クイーンニーナ, シャインマスカット: 無核果率向上のために開花前にストマイ液剤20 1,000倍散布
※ 使用薬剤, 時期, 濃度・量, 方法については, 品種毎にラベルを熟読の上使用する

＜農薬登録内容が変更されている場合があるので, 農薬使用前には表示ラベルをしっかりと確認しましょう!＞